

大阪平野の生き物を知って

子供らのペーパークワント展示

中央区

大阪平野に生息する生き物をかき集めて、散策の市民も足を止めていた。10月、開平、大江の両小学校でクワント教室を開き、子供と保護者らに、一枚の紙をさかめカッターナイフで切った動物のペーパークワントの製作と飾り付けは、大阪商工会議所の東横堀川水辺再生協議会の主催で、NPO法人「nature work」(ネイチャー・ワークス)が協力した。

堀川河岸公園で、子供たちが作った動物のペーパークワントを飾るイベントが開かれた。高麗橋の桁下のスペースを利用して、フェンスの内側に色とりどりの昆虫や魚類、鳥類のリアルなペーパークワントをにぎやさんが26、27の2日間に分



動物の楽しい飾り付けられた空間に折下の高麗橋ペーパークワント
中央区
大阪市中央区

小村さんは「淀川を中心として、大阪にはどんな生き物があるのかを知り、作って形を覚え、地域の自然を大切にする」と話していた。

小村さんは「淀川を中心として、大阪にはどんな生き物があるのかを知り、作って形を覚え、地域の自然を大切にする」と話していた。

を高麗橋下に飾った。合わせて16種類。約200点のペーパークワントを展示した。小村さんは「淀川を中心として、大阪にはどんな生き物があるのかを知り、作って形を覚え、地域の自然を大切にする」と話していた。